



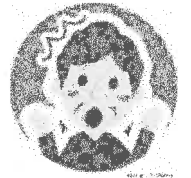
令和4年6月

## カウンセリング室だより

岩村正雄

皆さんはじめまして。スクールライフアドバイザーの岩村です。今年度からこの川高でお世話になります。毎週火曜日、11時から17時にカウンセリング室にいます。

現在65歳ですが、実際の年齢より老けて見えるかもしれません。58歳のとき、温泉の回数券を求めると、何の疑いもなく65歳以上対象の半額券を渡されたことがありました。当然、交換しましたが、実に面白くなかったです。



また、言動が天然らしいのです。自分では認めていませんが、家族や友人からドラフトにかかるレベルだといわれました。鋭いほうだと思っていたので、少しショックでしたが、考え方によっては、天然のほうが親しく接してもらえるので、それもいいかと、あえて天然のふりをしています!?

皆さんの年代は、とても傷つきやすく、ふとしたことで落ち込むことも多いと思います。そういったとき、誰かに話を聞いてもらうだけでも心が軽くなったり、元気になったりすることもあります。気軽に声をかけてください。

近々、その一生が映画化される、「ローマの休日」など多くの作品を残した大女優“オードリー・ヘップバーン”の名言がありましたので、紹介します。

「もしあなたががまんできそうもない苦しみをかかえているなら、ためらうことなく周囲に助けをもとめるべきです。」

オードリーは、心の傷にとっても敏感でした。軽い風邪なら自分ひとりでも治せるけれど、高熱が出たら病院に行くのと同じように、心が大きく傷ついたときには、自分ひとりで治そうとしてはならないと述べています。

